第３部:ワークショップ　[後半]

⑧－１「ICT（情報通信技術）でつながるしあわせ」

■講師　近藤 則子氏

（プロフィール）
老テク研究会　事務局長。

■概要

情報革命がもたらした最大の恩恵は「高齢者の新しい社会参加の機会」です。ICTでつながる情報社会は機械翻訳、メディア変換技術などを活用できれば、言語や心身に障害があっても、自宅にいながらに世界中の人たちとコミュニケーションができます。若宮正子さんは5年前に公開したスマホアプリ「ひなだん」で世界最高齢のアプリ開発者として有名になりました。現在は「老いてこそデジタルを。」と各地の高齢者を励ましています。

⑧―２「人生１００年時代を生き抜くには」

■講師　若宮 正子氏

(プロフィール)
NPOブロードバンドスクール協会 理事、メロウ倶楽部 副会長、
熱中小学校教諭(一般社団法人熱中学園)、公益社団法人 NEXT VISION理事。
2017年　ゲームアプリ「hinadan」を公開。これにより米国アップル社CEOより
WWDCに特別招待され、以降数々の政府主催会議の構成員を勤める。2018年国連社会
開発委員会のイベントや2020年国連人口基金のイベントで講演。2021年台湾政府デジタル担当の政務委員
（IT担当大臣） オードリータンさんとのトークショーを行った。

■概要
人生１００年時代を有意義に楽しく生き抜くには、「創造的であれ」「好奇心を持ち続けよう」
「多くの多様な人々と交流せよ」「生涯学習者であれ」ということが大切です。自分の体験を踏まえてお話します。

■場所　武蔵野大学8号館3階 教室

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
Musashino University